

# 第14回（2015年度）「北方領土の日」ポスターコンテスト 最優秀賞作品

## 【こどもの部】

### ●最優秀賞（小学生）



相馬 涼花（そうま すずか）さん  
（札幌市：札幌市立厚別北小学校）

### ●最優秀賞（中学生）

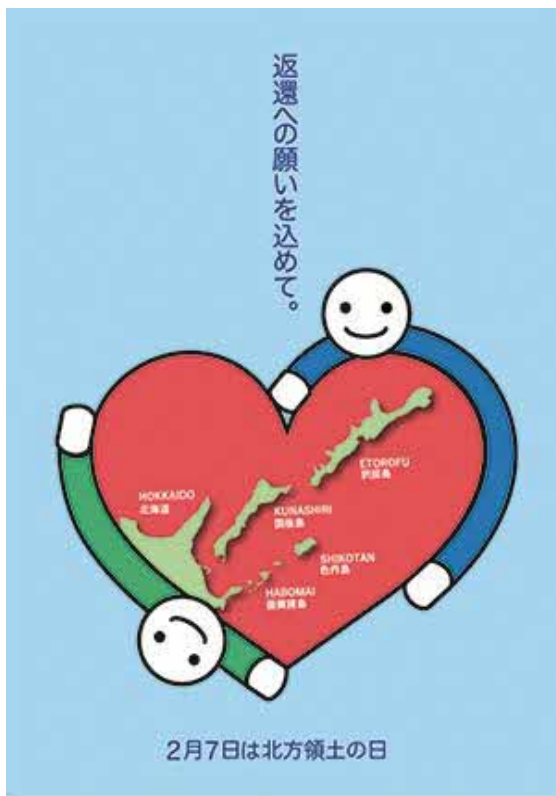


吉田 紘子（よしだ ひろこ）さん  
（札幌市：札幌市立青葉中学校）

- 優秀賞 ・木戸 陽（きど よう）さん（札幌市 小学生）  
・金田一 七海（きんだいち ななみ）さん（江別市 中学生）

## 【一般の部】

### ●最優秀賞（総合）



青木 理奈（あおき りな）さん  
（札幌市：北海道芸術デザイン専門学校）

### 〔審査員講評〕

北方領土・ハート形の図形・笑顔の人々、それらがシンボルマークのように単純化された明快なデザインで構成され、返還運動が分かりやすさと楽しさで表現されています。文字とビジュアルのレイアウトがシンメトリーになっていて、デザイン的には安定感がありすぎますので、もう少しリズムを持たせる工夫をするとより良くなるでしょう。見る側にも印象的で、記憶に残る秀作です。

●最優秀賞（高校の部）



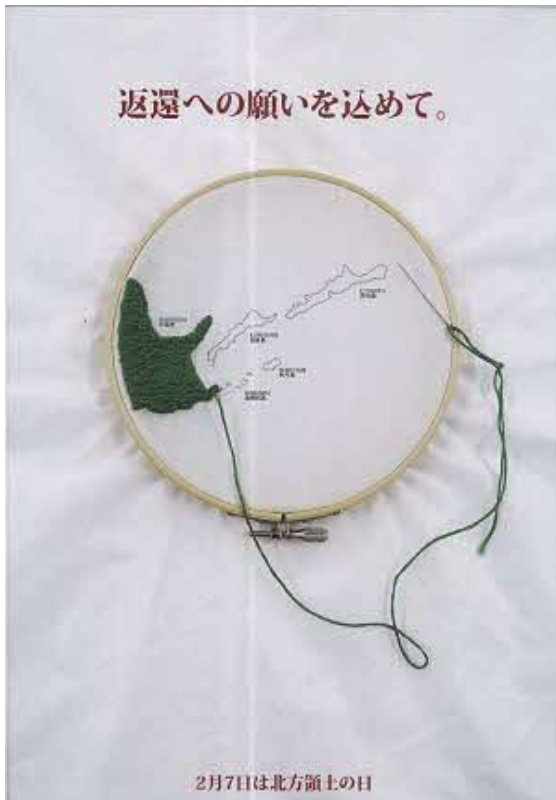
安孫子 喜一（あびこ きいち）さん

（江別市：立命館慶祥高等学校）

〔審査員講評〕

文字要素・地図だけで構成されたデザインは、ここに至る学習の成果が感じられ、新しいチャレンジを想起させます。周りの大きな文字（文章）が北方領土に向かって徐々に小さくなっていく、見る側の視線を誘導する動きとなっていて、デザインする側の緻密な計算が見て取れます。今年のコンペ表現の中、高校生ながらデザインの多様性を示してくれた秀作となっています。

●最優秀賞（大学・専門学校の部）



高柳 汐希（たかやなぎ しおね）さん

（札幌市：北海道芸術デザイン専門学校）

〔審査員講評〕

デザインする事は感性だけでなく、論理と計画性が必要です。思いを込めて縫う事にアイデアの種を見つけ、ビジュアルへ至る緻密な計算が素晴らしい。ビジュアルをパソコンで作る事は簡単ですが、刺繍素材を作り、写真にするプロセスと努力が評価できます。このプロセスこそ学生として一番大切、必ず後の成果を生む事になると思います。ポスターとしては、地味な色合いで訴求力が弱い事が悔やまれますが、完成度の高い秀作です。

- 優秀賞 ・コール 敦子（こーる あつこ）さん （札幌市 児童会館職員）
- ・佐藤 美稀（さとう みき）さん （別海町 高校生）
- ・佐藤 ひかり（さとう ひかり）さん （札幌市 専門学校生）